

外国につながる子どものことばと育ち 勉強会 実施報告

「どのことばで育てる?」「誰に相談する?」。

日本で子育てをする外国人の皆さんにとって大きな課題である、「子どもの言語習得や発達」にフォーカスした勉強会を行いました。

〈概要〉

● タイトル

「外国につながる子どものことばと育ち 勉強会」
(支援者向け)
(外国人向けには「こどものことば勉強会」)

● 趣 旨

子どもの言語習得や発達について、保護者が考えるきっかけや、保護者同士で悩みやアイデアを共有する機会とします。

支援者には、基礎的な知識を得ることで、保護者・子どもの状況を知る機会とします。

● 日 時 2017年2月19日(日) 13:00~15:30

● 場 所 鶴見国際交流ラウンジ(横浜市鶴見区)

● 講 師 石井恵理子先生(東京女子大学現代教養学部教授)

● 参加者 20人

保護者13人(インド、カンボジア、中国、日本、
フィリピン、ブラジル、ポリビア)
支援者7人(学校教諭等)

● 主 催 公益財団法人横浜市国際交流協会



〈内 容〉

● 講演「ことばが育ち こどもが育つ」石井恵理子先生

講演では、「ことばを育てるために、考えなければならないこと」「こどものことばの発達について」また、「親が自信を持てる言葉で子育てをする」ことを学びました。

どのことばでこどもを育てるか悩んでいた外国人保護者から、熱心な質問が出されました。

● 子どもの(言語)環境を振り返るワーク

こどもの生活環境や、こどもの一週間の生活、ライフコースを整理し、ワークシートに具体的に記入することを通して、こどもと家族をとりまく(言語)環境を確認・振り換える機会となりました。



〈保護者の声〉

- ことばをどうするか、決心がついた
【両親は中国、子は日本生まれ】
- 子から親は日本語。英語の本を毎日読み聞かせしている。カルタをやらせてみたい。【英語】
- 姉妹間で日本語、親とはスペイン語の家庭。見つめなおしの機会になった。【スペイン語】

〈支援者の声〉

- ことばの発達という専門的な所から話を聞き、日頃学校で指導している子ども達を浮かべながら、納得して学ぶことができました。